

1202-2

12 月 2 日 11:20-11:50(日本時間 19:20-19:50)

“An Overview of COMAC and its Programs”

(COMAC とそのプログラムの概要)

講演者: Wei Liu (COMAC)

COMAC は 2008 年に設立された、中国国策による民間航空機開発、販売、MRO 企業であり、近い将来に Boeing, Airbus の Competitor となる可能性が十分にある。

今回のセミナーでは、COMAC の現況と将来像が語られた。

1. Profile

上海に拠点を置き、ARJ21 航空機の中国市場向け開発に成功し、USA, France にも拠点を置いている。すでに 13,000 人の企業となっている。浦東空港の近くに COMAC Industrial Park を築き、そこでは Engineering 部門、R & D 部門、最終組み立て部門、その他の部門、さらに Supplier を集中させることによって情報、物流の効率化を図っている。

2. Market Forecast

COMAC は毎年 Aviation に関する 20 年後の予測を立てている。Asia 市場は将来世界の 40% を保つとみている。その中で Regional Traffic として Narrow Body 機が重要な役目を果たすことになる。

今年はコロナの影響で世界的に航空機の利用は激減しているが、中国は国慶節の時期(10 月)前年比 10%減でほとんど変化はなかった。

次に、空港の増設が計画されている。2019 年 238 空港(そのうち地方空港 164)が 2030 年には 408 空港(地方空港は 254)。これにより中国では Regional Aircraft の重要性が理解できる。(筆者注: 日本の空港 97(拠点空港 28、地方他 69))。

3. Program Update

ARJ21 (78~129 席、2225~3700 km)、2016 年以降 39 機/8 社を納入、2021 年には合計 100 機に達する予定。現在の生産機数は 30 機/年、616 機受注/23 社

2020 年 6 月海拔 4411m 世界最高度空港での離着陸テストに成功。

(筆者注: 中国「稻城亞丁機場」(日本語読みでイナギアデン空港と読む?)

Emergency Medical Service, Business Jet, Freighter の Configuration がある。

CRJ919 (Max 170 席、5500 km)

2021 年初号機納入予定。2025 年には 50 機/年生産体制予定。

受注 815 機/29 社

6 機体制で Flight & Ground Test 進行中。

CR929 (Wide body 280 席、12,050 km)

COMAC と UAC (ロシア) との共同開発。2017 年に JV 締結。

2021 First Customer 決定予定。(Program Launch のことか?)

現在 RFP Review 進行中。

4. Cooperation, Collaboration Opportunities

これまでは欧州との関係が強かった。特にフランス。

その中でも Safran と COMAC の JV (SAIFEI AVIATION EWIS Manufacturing Co. Electrical Powe 分野)

Dassault System (Information、Simulation 分野)。

今後の協業、共同開発は Green Industry (環境分野)、Sustainable (Recycling、) X-Ray Technology